

平成 29 年度 本人中心部会活動報告

【目的】障がいのある方がこの地域で安心して自発的に生活できるよう、ニーズに沿ったより良いサービスが提供できる地域をつくるために活動する。当事者が積極的に活動できる場を広げ、当事者主体の活動を後方支援していく。

【主な活動】

【来年度に向けて】

本人中心部会

ニーズ聴きたい・つながりたい

●今年度は、「余暇を楽しみたい意識・希望のある方」を対象に、11/2~12/21の期間に「調査」ではなく、「想いの受け止め活動」として25名の方からお話を伺った。今後、「結果」「分析」「提案」の3つにまとめ、来年度の活動につなげたい。

●来年度は、地域生活支援拠点等事業の1つの機能である地域移行を進める為、協議会より依頼を受けた、入所施設で生活されている方のニーズを聴く活動についても検討する。

○まとめを行い、次年度の活動につなげる。

○入所の方のニーズ把握について検討する。

いって来てやって委員会

●地域のさまざまな資源を気軽に見て頂く事で生活の中の選択肢を広げて頂けるよう当事者向けの見学・体験ツアーを実施。

①「暮らしの場所」…サービス付き高齢者向け住宅 ハートネット信州中野
9/13・9/20 実施。合計 37 名参加。

②「楽しく過ごす場所」…ながでんハートネット駅前健康ふらざ
10/3・12/5 実施。合計 46 名参加。

③「働く場所」…アルビスファーム信州中野
11/13 (午前の部・午後の部) 実施。合計 30 名参加。

参加者から頂いたアンケートをもとに、来年度の活動を計画する。

みんなで楽しもう会

●今年度は当事者実行委員7名の方が2つの企画の検討を行い、その内の1つとしてカラオケの企画を12/16に実施。7名の方が参加。今年度実施できなかった水族館旅行については、また来年度検討していく。

●スタッフは後方支援として何が出来るか考えながら関わらせてもらってきた。後方支援の難しさを感じているが、ステップアップしていけるよう今後も検討していきたい。

○実行委員会で来年度の活動について検討を進めていく。

○後方支援のスキルアップを目指す。